

適用規格								
定 格	使用温度範囲		-30℃～+85℃（注1）		保存温度範囲	-10℃～+60℃（注3）		
	使用湿度範囲		40%～80%（注2）		保存湿度範囲	40%～70%（注3）		
	電 圧	AC 250 V	UL・CSA	AC 30 V				
	電 流	2 A	定格	2 A				
性 能								
	項 目	試 験 方 法			規 格		QT	AT
構 造	外観、構造、仕上げ	目視、寸法測定器にて測定する。			図面と合致していること。		○	○
	表示	目視にて確認する。					○	○
電 氣 的 性 能	接触抵抗	100 mA (DC又は 1000 Hz) で測定する。			30 mΩ 以下		○	—
	絶縁抵抗	DC 500 Vで測定する。			1000 MΩ 以上		○	—
	耐電圧	AC 650 Vの電圧を 1 分間印加する。			せん絡・絶縁破壊がないこと。		○	—
機 械 的 性 能	繰り返し動作	30 回の抜き差しを行う。			①接触抵抗： 30 mΩ 以下 ②破損、ひび、部品のゆるみがないこと。		○	—
	耐振性	周波数 10～55 Hz、片振幅 0.75 mmで 3 方向 各 2 時間試験する。			① 1 μs以上の電氣的瞬断がないこと。 ②破損、ひび、部品のゆるみがないこと。		○	—
	耐衝撃性	加速度 490 m/s ² 、持続時間 11 ms、 正弦半波 3 方向 各 3 回試験する。			① 1 μs以上の電氣的瞬断がないこと。 ②破損、ひび、部品のゆるみがないこと。		○	—
環 境 的 性 能	定常状態の耐湿性	温度 40 ± 2℃、湿度 90～95 %中に 96 時間放置する。			①接触抵抗： 30 mΩ 以下 ②絶縁抵抗： 500 MΩ 以上 ③破損、ひび、部品のゆるみがないこと。		○	—
	温度サイクル	温度 -55 → +5～+35 → +85 → +5～+35℃ 時間 30 → 5～15 → 30 → 5～15分 を 5 サイクル 試験する。			①接触抵抗： 30 mΩ 以下 ②絶縁抵抗： 1000 MΩ 以上 ③破損、ひび、部品のゆるみがないこと。		○	—
	半田耐熱性	【 自動半田（フロー）の場合 】 半田温度 260℃、10 秒間で試験する。 【 手半田の場合 】 半田ごて 300℃、2 秒以内の条件にて 半田付けを行う。 但し、端子に力を加えないこと。			外観の変形及び端子等に 著しいガタがないこと。		○	—
	半田付け性	半田温度 230℃、浸漬時間 3秒間の 半田付けを行なう。			半田浸漬面の 95 %以上が 新しい半田で濡れていること。		○	—
	△の数	訂正記事			設計		検図	年月日
△								
備考					承 認	TS. SAKATA	08.03.06	
(注1) 通電時の温度上昇を含みます。					検 図	HK. UMEHARA	08.03.05	
(注2) 結露のないこと。					担 当	KT. ISHII	08.03.05	
(注3) 基板搭載前の未使用品に対する長期保存状態に適用。					製 図	YK. NAKATSU	08.03.03	
基板搭載後、輸送時の一時保管は使用温湿度範囲を適用。								
試験規格の記載のない試験方法はJIS C 5402を適用している。								
注 QT: 確認試験 AT: 製品検査 ○: 適用項目				図番	SLC4-020823-07			
HRS	製 品 規 格 表			製品名	DF11-20DP-2DSA (08)			
	ヒロセ電機株式会社			製品コード	CL543-0525-3-08		△	1/1